

公共事業に係る効果等について



伊福地区

事業概要（背景・目的）

○事業背景

- 当地区の生活用水や農業用水は、地下水や溪流からの流水に依存しているため、干ばつが発生すると水飢饉に見舞われ、生活や農業に支障を来たしてきた。
- 当地域を流れる伊福川は、集水面積が小さく、地形が急で、降雨時の流水は一気に有明海へ流出するため、水不足により農作物の被害に悩まされてきた。
- 山の手入れや森林内を通った用水路の維持管理は、道路が途中までしか無かったため、森林へのアクセスが困難であり、これまでは多大な労力と時間を要していた。

○事業目的

- 荒廃した溪流の不安定な土石の移動防止や溪岸侵食の防止。（治山ダムを設置）
- 水源のかん養など森林の持つ公益的機能の向上。（間伐・除伐・植栽の森林整備）
- 森林整備作業や用水路の維持管理の労力の軽減と時間の短縮。（作業車道の設置）

事業概要（全体概要）

- 事業名：水源流域地域保全事業
- 箇所名：藤津郡太良町大字伊福 ^{いふく}「伊福地区」
- 工 期：H18～H20（3ヶ年）
- 総事業費：1億9千万円 [負担割合（国）50%（県）50%]
- 事業内容
 - 治山ダム3基 [コンクリートダム1基、カゴ枠ダム（透水型）2基]
 - 本数調整伐（間伐）37ha、除伐（侵入竹林の伐採）23ha
 - 植栽15ha、作業車道1,503m（幅員3.0m）

3

事業概要（施工位置）

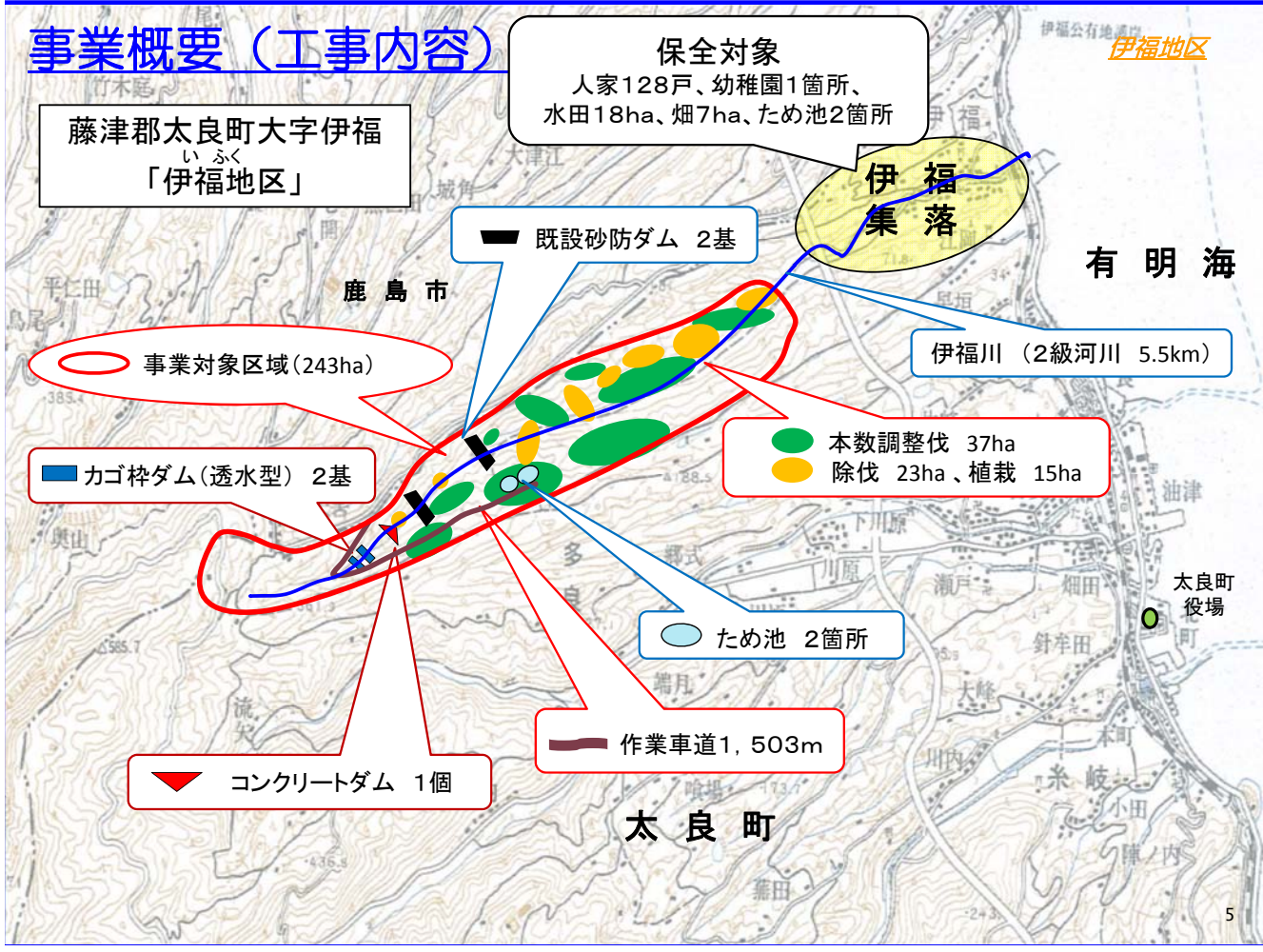
施工位置図

藤津郡太良町大字伊福
^{いふく}
「伊福地区」



4

事業概要 (工事内容)



事業効果の発現状況 (1)

伊福地区

○ 治山ダムの設置により、不安定な土石の移動防止や溪岸侵食の防止が図られた。
事業の直接的効果：B

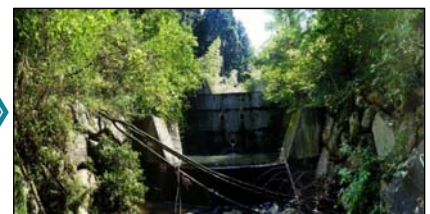
【整備前】
不安定な土石の堆積状況



【整備直後】
コンクリートダム



【現況効果】
不安定な土石の移動防止



溪岸侵食の状況



カゴ枠ダム (透水型)



溪岸侵食の防止



事業効果の発現状況（2）

伊福地区

- 森林整備により、水源かん養など森林の持つ公益的機能の向上が図られた。
事業の直接的効果：B

【整備前】

林内の過密状況



【整備直後】

本数調整伐(間伐)



【現況効果】

下層植生の繁茂による表土の安定



7

事業効果の発現状況（3）

伊福地区

- 作業車道の設置により、車での進入が容易となり、森林整備作業や用水路の維持管理の効率化につながった。

【時間短縮 〔H17〕 往復1時間（徒歩） → 〔H20〕 往復20分（車）】

事業の直接的効果：B

【整備前】

森林へのアクセスが困難



【整備直後】

作業車道(W=3.0m)



【現況効果】

森林へのアクセスが容易



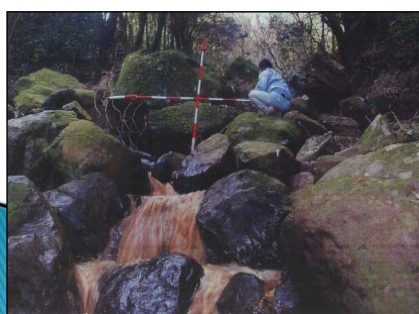
8

事業による環境への影響（生活環境）

伊福地区

- 治山ダムを設置等により、溪流の溪岸侵食や濁水が防止され、水質が改善された。
生活環境評価：A

【整備前】
溪岸侵食・濁水の状況



【整備後】
水質の改善



9

事業による環境への影響（自然環境，社会文化環境）

伊福地区

- 自然環境（生態系）、社会文化環境（景観）の評価についての環境への影響は、発生していない。

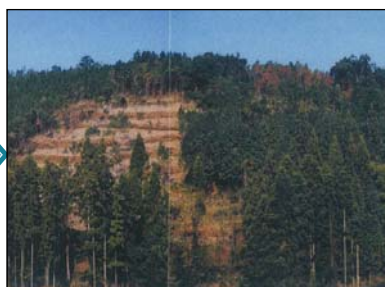
自然環境評価：B

社会文化環境：B

【整備前】
竹林の進入による
森林の荒廃状況



【整備後】
除伐（進入竹林の伐採）
植栽（ケアキ、モミジ等）



【現況効果】
植栽木の生長による
森林の再生



10

施設の維持管理状況

伊福地区

- 治山ダムの管理は、県が行っている。
- 用水路や作業車道の施設管理は、地元住民が行っている。（草刈は、年2回を実施）
維持管理主体により適切な維持管理が行われている：B

治山ダム(佐賀県で管理)



用水路(地元住民で管理)



治山ダム(佐賀県で管理)



作業車道(地元住民で管理)



11

地域住民等県民の意見

伊福地区

- 溪流の不安定な土石の移動や溪岸侵食が防止され、用水路の取水口において、土石の混入や詰まりが大幅に減少した。
 - 用水路の取水口についても「分水仕切」が設置され、満足している。
 - 作業車道が設置されたことにより、車での森林への進入が容易となり、森林整備作業や用水路の維持管理の利便性が大変向上した。
- 事業目的（効果）が地域住民に理解され、利活用されている。：B

改善措置の必要性

現在のところ改善の必要はない。：B

12